



岡田 聡 議員

# 移住・定住促進施策の充実は？

町長

すべては対応できない



研修に励む移住者

【岡田】 少子高齢化による人口減少が地域社会の大きな問題になっている。思い切った移住・定住施策を打ち出すべきだ。

【町長】 すべての若者や子育て世代に必要であり、切れ目のない施策の充実をはかっている。

【町長】 まちづくり団体に移住定住マッチング事業を委託し、情報提供や相談対応、空き家バンクの推進などを進めている。

【町長】 効果的な施策は、できるだけ取り入れたいが、財源が限られており、すべては対応できない。まずは現在の施策をしっかりと推進する。

研修期間中の生活費の助成は、農業分野などで制度がある場合は、関係機関と連携して対応している。

【岡田】 婚活、結婚から子育て、共働き夫婦への支援などの取り組みは。



式典で功労者を表彰

## 合併10年の総括は？

町長

活性化に取り組んだ

【岡田】 大山恵みの里づくり計画を基本として、さまざまな事業が行われてきた。合併10周年を機に、施策の成果を検証し、次に生かすべきと考えるが。

【町長】 低い自主財源比率を高めるには、有地の貸し付け、地方創生での住民所得の向上につながる取り組みなどを行う必要がある。

【町長】 大山恵みの里構想をシンボル施策と位置づけ、公社の設立、名和小学校の統合や拠点保育所の整備による子育て環境の整備、光ケーブル架設、道路整備など、町の活性化や住民福祉の向上に取り組んできた。

また、住民自治組織の育成、移住定住の推進、出会いから子育てまでのシステムづくりなどにも努めてきた。